

児童減少地域の保育園のあり方について

1 はじめに

市は、これまで保育園整備計画に基づき、老朽施設の建替えと併せ統合による保育運営の効率化により財政健全化を図り、環境整備と保護者の経済負担緩和など保育サービスの充実に努めてきました。

市議会や地域住民からは、少子化が進む中山間地域の保育園在り方として、保育園整備計画による休廃園の目安が、保育園の存続を望む地域住民にとって精神的な不安を強いられていることから、基準の廃止を求める意見が市に提出されています。

そこで、児童が減少している中山間地域の保育園のあり方として、審議会委員の皆さんから多面的な意見等を頂き、子どもの教育・発育や保護者等にとって望ましい環境の展開を検討していきます。

2 保育園整備基準について (別紙資料)

3 児童数と入園状況について (別紙資料)

4 地域の通園環境について (別紙資料)

5 子育て支援の展開について (別紙資料)

6 意見交換